

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	摂南大学寝屋川キャンパス新棟	階数	地上3F
建設地	大阪府寝屋川市池田中町	構造	S造
用途地域	準工業地域、準防火地域	平均居住人員	2,270 人
地域区分	6地域	年間使用時間	2,904 時間/年(想定値)
建物用途	学校	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年7月26日
敷地面積	10,421 m ²	作成者	北川尚子
建築面積	4,791 m ²	確認日	2021年7月26日
延床面積	12,160 m ²	確認者	藤江比呂子



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.4 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	84%
③上記+②以外の	84%
④上記+	84%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Qのスコア = 3.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.4

音環境	3.4
温熱環境	3.0
光・視環境	3.2
空気質環境	4.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.8

機能性	4.1
耐用性	3.4
対応性	3.9

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 3.1

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性・	3.5

LR 環境負荷低減性 LRのスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.6

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	3.4
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

水資源	3.4
非再生材料の	3.2
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.6
地域環境	2.8
周辺環境	2.4

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
1階底、南東部分のルーバーにより日射を抑制する。共用部、居室部ともに引き違い窓を設けることで自然通風を促し、中間期には空調に頼らず快適な空間とした。		
Q1 室内環境 ゾーン別に冷暖を切り替えられる空調計画とした。天井高が大きい1階ラウンジ commons は床吹き出し空調とし、利用者の快適性を考慮した。	Q2 サービス性能 維持管理が行いやすいように、1階はシートを主たる床材とする。2、3階の主たる窓を引き違いとする、適正な面積の倉庫の確保等を行った。	Q3 室外環境(敷地内) 既存の樹木を残置・移植する他、芝生エリアを設けることで一定の緑地を確保した。また、建物外周に庇をまわすことで室外の日陰を確保した。
LR1 エネルギー 屋根の断熱性能を高め、屋上緑化によりヒートアイランド現象低減に努めた。	LR2 資源・マテリアル 節水型の衛生器具を採用している。	LR3 敷地外環境 敷地外に対して十分な空地を確保し、敷地外への風通りを確保している。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

大阪府建築物環境配慮評価システム2018年版 大阪府の重点評価(結果)

受付番号

R3-0042

Osakafu-新築・既存 2018V1.0

【建物概要】	建物名称	摂南大学寝屋川キャンパス新棟					
	建設地	大阪府寝屋川市池田中町					
	用途/区分	学校(大学等)					
【評価結果】	CASBEE 総合評価					B+	
①	CO2削減					4	
②	みどり・ヒート アイランド対策					3	
③	建物の断熱性					5	
④	エネルギー削減					3	
⑤	自然エネルギー直接利用					—	
	再生可能エネルギー 利用施設の導入状況	太陽光発電	○	風力	—	地熱	—
		太陽熱利用	—	水力	—	バイオマス	—

エネルギー消費量の報告

【評価項目】			
項目	評価内容	スコア	評価
① CO2削減	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価	3.6	4
② みどり・ヒートアイランド対策			
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価	3.0	3
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3. 2」のスコアによる評価	3.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2. 2」のスコアによる評価	3.0	
③ 建物外皮の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価	5.0	5
④ 設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価	3.4	3
⑤ 自然エネルギー利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価	3.0	—
エネルギー消費の実態把握に努める	エネルギー消費量の実績を3年間報告する。	報告する 報告しない	報告しない

その他

	技術の名称	考慮事項
先進的技術の導入		
特に配慮した事項		